

公民館だより なかがわ

第487号

令和5年6月6日

発行 中川地区公民館

TEL.Fax : 679-2501

【一般講座】

「みそ作り」

日時：7月18日（火）
10：00～12：00頃
場所：中川地区公民館 集会室
内容：出来上がり量が5kgのみそを作ります
講師：石井伊惣治商店（十日町）さん
持ち物：レジャーシート（1人用）、エプロン
三角巾、手拭きタオル、飲み物など
みそを持ち帰るための蓋つきの容器
（内容量7kg以上の容器をご準備下さい）
材料費：2,000円
対象：中川地区民
定員：先着15名
締切日：定員になり次第締め切り



手作りみそにチャレンジしてみませんか？

お申し込み先：中川地区公民館（☎679-2501）

6月 行事予定



- 6/1(木) 三者会・中川地区会長会・公民館運営協議会
- 6/2(金) 第3回パソコンクラブ
- 6/3(土) 蔵王山頂清掃とつつじ祭り
- 6/6(火) 市報・館報
一般講座「陶芸教室」
- 6/8(木) 防犯協会中川支部四役会
- 6/9(金) 市公民館職員研修会
（職員不在時間あり）
- 6/11(日) 中川地区さわやかコンサート
- 6/13(火) 第3回そば打ち教室
第1回自衛消防訓練
- 6/14(水) 笹巻き宅配事業準備作業
- 6/15(木) 笹巻き宅配事業笹巻き作り
- 6/16(金) 笹巻き宅配事業笹巻き宅配
防犯協会中川支部幹事会
- 6/23(金) 第2回粋いき倶楽部（職員不在時間あり）
- 6/25(日) 第3回ウォーキング（協会）
- 6/30(金) 市報・館報

参加者募集



中川地区さわやかコンサート 「上山吹奏楽団」

幅広い年代に楽しんでもらえるような
内容になっています！！

日時：6月11日（日）
開場 10：00 開演 10：30～
場所：中川小学校 体育館（※内履き持参）
入場料：無料
対象：年齢問わず 中川地区民100名程度
※ただし、地区民である申込者と一緒に地区外
の親族等が参加することは可能です。

まだ空席があります！！公民館へ電話
または来館にてお申込み下さい。

申込みする方のお名前、地区名、電話番号、
参加人数をお知らせ下さい。

会場にて当日受付も可能ですので、
お誘いあわせの上、ぜひお越しください。

各教室の予定

- グラウンドゴルフ愛好会
（月曜日） 6/5、12、19、26
- 詩吟教室 （火曜日） 6/6、13、20
- ラージピンポン愛好会
（木曜日） 6/1、8、15、22、29
- スポーツ麻雀愛好会
（木曜日） 6/22
（土曜日） 6/10、17

休館日のお知らせ

8月14日（月）は休館日となります。
ご不便おかけいたしますが、よろしく
お願いいたします。

里山ウォーキングときのこ作り体験教室



5月1日(月)中川小学校3年生14名との、ふるさと学習『里山ウォーキングときのこ作り体験教室』が開催されました。テラポイト協会の山本さんと渡邊さんを講師に迎え、準備体操と注意事項の話を聞き、いざ出発!!足取り軽やかに心地良い日差しを浴びながら、地元高野の里山の自然を感じながら、やまびこに会える丘に到着。元気な声で『ヤッホ!!』。気持ちよく発声出来たと思います。

後半は公民館に戻り、木村 豊治さん(甲石)、前事務長の佐藤さん、公民館館長に教えてもらいながら、きのこの植菌体験です。桜の木の原木にドリルで穴をあけ、なめこの菌1駒を差し込み、木づちで叩いて埋め込んでいく工程です。ドリルを初めて見る児童が多く少し驚いていた様子でしたが、いざ自分が体験をするとなると顔が引き締まり真剣に取り組んでいました。

最後に児童の皆さんから『クアの道を初めて歩いたけど、また歩きたいです。』『こんな所があるとは知らなかった。』『ドリルは怖かったけど、楽しかった〜』『これがなめこになるの?』などと、たくさんの感想をいただきました!秋になめこがたくさん出ること期待して祈るばかりです。



【一般講座】「刺し子体験」

5月12日(金)一般講座「刺し子体験」が開催され、猫のコースターを作成しました。講師は高木 直さん(山形大学名誉教授)です。型紙、布、糸、針が入ったキットを準備していただき、説明を受けて、わからないところは先生に聞きながら作成していきました。猫の目やひげの位置、模様が変わるだけで、それぞれ個性あふれる作品になっていきました。完成後、見比べながら、この模様いいねえ、こうすると素敵ねえと感想を言い合い、素敵な時間を過ごしていました。



ウォーキング教室「西山コース」



5月23日(火)第2回『西山コース』のウォーキング教室が会員10名の参加で開催されました。テラポイト協会の石井さんを講師に迎えいざ出発!!雨上がりの山道の中、所々に咲く山花や時より聞こえて来る鳥のさえずりに心癒され、穏やかな時間を過ごす事が出来ました。百枚団の所で恒例の『ヤッホ!!』。こだまが響き渡りとても気持ちが良かったです。もう少し時期が過ぎれば、蛍の里でもあるこの場所でたくさんの蛍が飛び交う所も見てみたいと思いました。



ありがとうございます

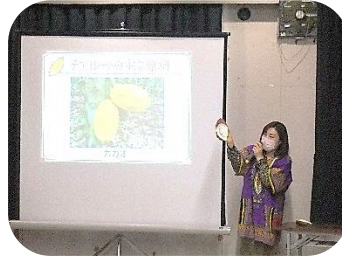
高野地区の山口 利雄さんより、ご厚意で、中川地区公民館と中川地区農業者等トレーニングセンターの周りの草むしりをしていただき、とてもきれいになりました。公民館は地区の方々に支えられています。本当にありがとうございます。

「令和5年度中川粋いき倶楽部」開講式

5月26日（金）令和5年度中川粋いき倶楽部の開講式が開催されました。今年度は会員25名での活動となります。開講式では、来賓の中川地区会長 鈴木 英明会長よりご挨拶をいただき、その後、昨年度の事業報告等・今年度の予定・予算案の承認を得て、今年度の会員さんの自己紹介を行いました。

後半は、株式会社明治より栄養士の阿部 裕子さんをお迎えし、「楽しく健活セミナー」〈チョコレートの世界へようこそ！〉のテーマでセミナーを開催いたしました。食べる機会の多いチョコレートだと思いますが、今まで知らなかったチョコレートの歴史、カカオ豆からチョコレートができるまで、生産地についてなどたくさんのお話を教えていただきました。最後に産地の異なる2種類のチョコレートの食べ比べをして、カカオの香味の違いなどを楽しみ、充実した時間を過ごすことができました。

粋いき倶楽部は年9回の事業を予定しております。より多くの会員の皆さんが参加していただけるような学びの場を提供して行きたいと思っております。今年度も一緒に楽しく学んでいきましょう。



第31回中川地区グラウンドゴルフ大会

5月28日（日）に令和5年度中川地区公民館体育部主催の『第31回中川地区グラウンドゴルフ大会』が開催され、一般の部27名、児童の部14名の皆さんが参加してくださいました。館長の試技で競技開始です！一般チーム、児童チーム合わせて9チームに分かれて行われ、最初は緊張していた様子の子供達も、徐々に楽しそうな笑い声が聞こえてきました。コツを掴むのがとても早く、プレーする毎に上手になっていました。一方、毎週のように公民館の広場で練習している一般の方々は、さすが!!なプレー続出で、ホールインワンもたくさん出ていました。いつもとは違い、お孫さんや子供たちと一緒に参加することで、普段よりも楽しくプレーしていただけたのではないのでしょうか？また、今にも降り出しそうな曇天のものと開催でしたが、参加された皆さんの熱気に、雨も大会の終了まで待ってくれていたかのようでした。

お忙しい中、お手伝い頂きました体育委員、子ども会育成会、そして付き添っていただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。来年度も開催できるよう公民館、体育委員とともに協力し進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



一般の部

大会結果

児童の部



優勝 齋藤 善美さん
準優勝 佐藤 敬一さん
第三位 加藤 喜信さん

優勝 小林 璃空さん
準優勝 鏡 沙羅さん
第三位 松浦 りおさん



おらほの中川へ地域の話題シリーズ 第百七十六弾

「昭和考、問わず語り（その28）」

甲石地区 高橋 正之

前号では、国家主義勢力による改革運動の起こりを述べたが、本号では理論の支柱となった大川周明と北一輝の理論を記述する。

〈理論指導者の人物像〉

大川（写真①）は、山形県酒田市出身で、荘内中学（現在の鶴岡南高）から五高に進み、東大哲学科を卒業、満鉄東亜経済調査局に在籍中近世植民政策の研究により法学博士を授与され、後に財団法人・東亜経済調査局理事長の要職にあった思想家である。

大川は、青年将校や軍上層部と緊密な関係を有し、彼らを通じて革新思想は軍内部にひろく浸透していった。（後に、東京裁判において訴追を受けたが、発狂し刑は免れた。）

北（写真②）は、若くして中国に渡り、上海、南京等の各地で革命達成のために奔走した革命家であった。大川の招きを受けて帰国し、国家改造運動に専念することになった。彼の著「日本改造法案大綱」は国家改造運動の教典として、多くの青年将校や民間革新家によって愛読された。



（写真①）



（写真②）

〈国家改造運動の目標〉

北・大川を中心とする国家改造運動の最終目標は、積極的に対外発展に乗り出すことができる強力な国家を確立することであった。

彼らは、第一次世界大戦後の日本に生じた国家の一致団結を損なう諸傾向を激しく非難した。すなわち、資本主義は階級闘争をもたらし、政党政治は政争に明け暮れ、西洋思想は日本精神を弱めたと考えた。日本を再建するために天皇を政治的中心とした一種の民主制の実現を主張した。この場合、天皇と国民の直結、並びに国民の間の権利の平等を強調した。

北は、華族制を廃止し、天皇と国民とを阻隔している藩屏を撤去し、更に貴族院を廃止して審議院を置き衆議院の決議を審議せしむことを提案した。

国民間の平等関係は、経済組織上の諸制度によって保証されるものであるとして、「一家の所有すべき財産限度・私有地限度、私人生産の限度資本金」を定め、超過する私有財産、土地、生産業は国家に納付し、生産業は国家が統一的に経営するとする国家社会主義の原則に基づくものであった。

〈中国に対する政策は、西洋諸国の勢力を駆逐すること〉

対外面では、左翼は国家を超越した階級的連携に現状打破する行動源を求めたのに対し、右翼は国家的団結を重視した。

しかし、北と大川は、社会主義者でもあったことから、資源に恵まれない日本を国際社会におけるプロレタリアと考え、日本の対外発展を国際社会における富の不均衡を是正する正当な行為であると説き、積極的に対外行動を起こすことこそ日本の活路であると主張した。

更に、日本が国際的不平等を是正するために起こす戦争は、白人の支配下にあるアジア諸民族のための解放戦争であるとした。日本は、「人類解放戦の旋風の渦心」とし指導的役割を演ずるよう運命づけられており、中国に対する政策も西洋諸国

の勢力をここから駆逐することにあるとした。大アジア主義を標榜していたにもかかわらず、彼らは日本がアジア大陸へ膨張することを否定しなかった。むしろ彼らは、日本が大陸の一部を領有することにより、アジア保全が確立できると説き、特に南満州は帝国ロシアから獲得したものであって、日中親善の建前から返還する必要があると主張した。

北や大川が国家革新運動の発展に大きく貢献したのは、彼らの思想が対内的な経済危機と対外的な行き詰まりに激しい不満を抱き、現状打破を願う人びとに強く訴えたからであった。

〈革新の担い手を軍部に求め、行動方法を巡って対立、二大潮流へ〉

北・大川を中心とする国家改造運動は、行動面においても革新運動を強力に展開させる構想を有していた。

歴史上の変革は、常に高度に組織化された少数の精鋭によって達成されたと判断し北と大川は、革新運動の担い手を軍部に求めた。

しかし両者には、行動方法に関して意見の相違が生じた。中国革命を体験した北は、特に青年将校に革命のエネルギーを期待し、より徹底した革命的な経済社会の上の変革を追求し、国家改造そのものを重視して、対外発展に乗り出す以前若しくは同時にこれを完成させなければならぬとした。

これに対し、大川は上からの改革をもって効果があるとし陸軍の上層部と緊密な関係を打ち立てることに努め、対外危機によって国民感情を高揚させた上で国内改造を実現することを主張した。

両者に以上のような見解の相違が生じ、やがて革新運動を二分することとなり、大正十二年「猶存社」は解散し、その後大川は、大学寮、行地社を中心に活躍を続け、北も一派をなし、革新陣営の中に相敵視する大川派・北派の二潮流が生じた。（緒方貞子著「満州事変」岩波現代新書より。写真①は、文藝春秋編「テロと陰謀の昭和史」文春文庫より。写真②は、川田稔著「昭和陸軍七つの転換点」祥伝社新書より。）

（次号は、陸軍における国家革新運動について記述する予定です。）